

平成 30 年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業 NO.1]

小規模企業景気動向調査 第1 四半期 (H30 年 4～6 月)

①業種及び地域別景気動向

業 種		製造業		建設業	卸・小売業			サービス業		
		食料品 等	機械 金属		耐久消費 その他	食料品	外 食	旅館	理美容 その他	運輸
町 内	売 上 額	☂	☀	☁	☂	☂	☘	☀	☘	☂
	仕入単価	☂	☘	☂	☂	☂	☂	☘	☂	☂
	採 算	☂	☀	☂	☂	☂	☘	☂	☂	☂
	資金繰り	☂	☀	☂	☂	☂	☘	☀	☀	☘
	業界の業況	☂	☀	☘	☂	☂	☂	☂	☂	☂
北 信		↗ 改善		↗ 改善	↘ 悪化		↘ 悪化	↘ 悪化		↗ 改善
県 内		緩やかに回復している。								
全 国※		-14.9		-4.0	-40.1		-33.8		-20.2	-30.0

(※ 景況 DI 値で表示、+値が大きいほど好調)

② 景気動向報道及び特記事項

《町内》

5月上旬より町行政で住宅リフォーム補助金を実施され昨年より早い段階で募集が終了した。消費税増税前の消費喚起につながったと考えられる。

EV 車向け電子部品の増加している。(町内の機械部品加工業者より)

《北信》

全業種の売上高前年比は前回に比べ3ポイント以上増加、改善している。

運輸業は好調であるが乗務員確保が深刻化している。

建設業は消費税増税が現実的になり、いよいよ駆け込み需要が出始めている。

《県内》

長野労働局の発表によると、県内の大学や短大、高専、専修学校を今春卒業した学生の就職内定率は97.8%と2005年度調査開始以降、最高となった。

《全国》

全国の景況は県内と同様の「緩やかに回復している。」としている。

平成30年上半期(1月～6月)のヒット商品番付(話題)は「大谷翔平」と「平昌五輪」がトップとなった。下半期は「感動」と「共感」に関する商品がトレンドと予想(日経MJ)

参考資料：

長野信用金庫「長野しんさん北信経済動向“すかい”」

長野経済研究所「経済月報」

日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」

日本経済新聞社「日経MJ」